



赤外線ワイヤレスマイクロフォンレシーバー

KWR-500

取扱説明書

ご使用の前に必ずお読みください

このたびは赤外線ワイヤレスマイクロフォンレシーバー KWR-500 をご購入求めいただきまして、まことにありがとうございます。本機の機能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくためにご使用の前にこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は保証書と一緒に、いつでも取り出せる場所に保管してください。

37BA851110

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。

■ 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。絵表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■ 絵表示の例



感電注意

△記号は注意(危険・警告)を促す内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は、感電注意)が描かれています。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は、分解禁止)が描かれています。



電源プラグをコンセントから抜く

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

設置されるとき



警告

- 本機に表示された電源電圧(交流 100 ボルト)以外の電圧で使用しない
火災・感電の原因となります。
- 本機を設置する場合は壁から 10cm 以上の間隔をとる
放熱をよくするために他の機器との間は少し離して置いてください。
- ラックなどに入れるときは、機器の天面から 2cm 以上、背面から 5cm 以上のすきまをあける
内部に熱がこもり火災の原因となります。



危険

- 船舶などの直流(DC)電源には接続しない
本機を使用できるのは日本国内のみです。
火災の原因となります。
- ACアダプターの電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにする
ACアダプターの電源コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。電源コードを敷物などでおおうことにより、それに気付かず重いものをのせてしまうことがあります。
- 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない
火災・感電の原因となります。特にお子さまのいるご家庭ではご注意ください。
- ACアダプターの電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない
ACアダプターの電源コードが破損して、火災・感電の原因となります。



禁止



注意

- 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かない
火災・感電の原因となります。
- ACアダプターの電源コードを熱器具に近づけない
ACアダプターの電源コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 他の機器などを接続する場合は各機器の取扱説明書をよく読み、説明にしたがって接続する
接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 本機をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 本機を湿気やほこりの多い場所に置かない
火災・感電の原因となります。
- 本機の上にものを置かない
バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



禁止



危険



禁止

ご使用になるとき



警告

- 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常がある場合は使用しない
火災・感電の原因となります。
すぐに AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して取扱店に修理をご依頼ください。
- 万一、本機の内部に異物が入った場合は、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて取扱店に連絡する
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜く



警告

- 万一、本機の内部に水などが入った場合は、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて取扱店に連絡する
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、本機を落したり、ケースなどを破損した場合は、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて取扱店に連絡する
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- ACアダプターの電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)取扱店に交換を依頼する
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜く



危険



水場での使用禁止



接触禁止

- 風呂、シャワー室では使用しない
火災・感電の原因となります。

- 雷が鳴りだしたら AC アダプターの電源プラグには触れない
感電の原因となります。

- 本機に水が入ったり、ぬらさないように注意する
火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



水ぬれ禁止

- 本機の裏ぶた、カバーなどは絶対外さない
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は取扱店にご依頼ください。



分解禁止

- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かない
こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
- 本機の上でろうそくなどの炎が発生しているものを置かない
火災の原因となります。



禁止

- 本機を分解改造しない
火災・感電の原因となります。



分解禁止



注意

- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光があたる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しない
ケースや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 本機の上に乗らない
特にお子さまにはご注意ください。
けがの原因となることがあります。



禁止



注意

- ぬれた手で AC アダプターの電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

- 本機の電源を入れる前には音量(ボリューム)を最小にする
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
- 万一の事故防止のため、電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントから AC アダプターの電源プラグを取り外せるようにする



危険

- 旅行などで長期間本機をご使用にならないときは、安全のため必ず AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜く
火災の原因となることがあります。
- 本機を移動させる場合は、必ず AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外す
ACアダプターの電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜く

お手入れについて



注意

- ACアダプターの電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
ACアダプターの電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。



禁止

- お手入れの際は安全のため AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を取扱店に相談する
機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については取扱店にご相談ください。



注意

CSR カスタマーサポート

TEL : 042-711-6001

e-mail : support@kcsr.co.jp

ご相談受付時間

9:00 ~ 17:00

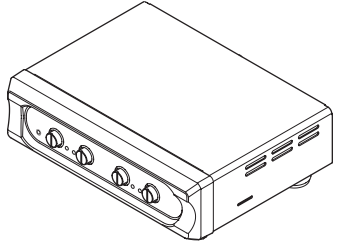
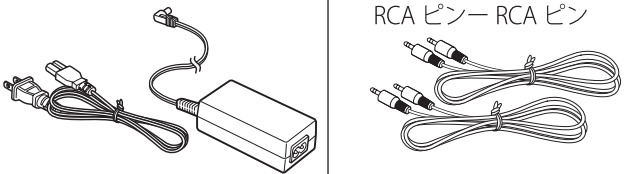
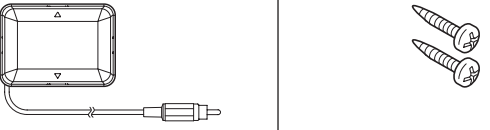
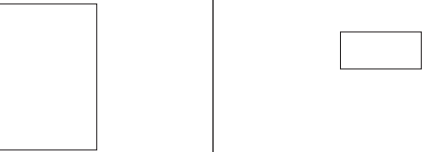
(土日祝日を除く)

特長

- ◆ダイレクトサンプリング方式により、赤外線信号を高品質・高分解能で受信。
- ◆受信回路から音声出力回路までデジタル処理することで、従来機を超える音質を実現。
- ◆赤外線ワイヤレスマイクロフォンが同時に4本使用可能。(4チャンネル同時受信は専用マイク KWM-300 に対応しています。他のマイクでは正しい性能を発揮できない場合があります。)
- ◆ロングレンジモードにより、従来機を超える遠距離受信を実現。
- ◆新型受光器により、高感度・広指向性に対応。

梱包内容

この梱包箱の中には次の物品が入っています。確認をしながら開梱をしてください。

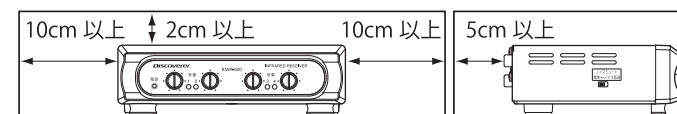
1. 赤外線ワイヤレスマイクロフォンレシーバー (KWR-500)	
	
2. AC アダプター	3. 接続ケーブル 1.0m (2本) RCA ピン - RCA ピン
	
4. 受光器 (KIR-500) ケーブル長: 5m	5. 受光器取付ネジ (2個)
	
6. 取扱説明書 (本書)	7. 保証書
	

ご使用上の注意

次のような場所に設置しないでください。

- ◆直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体に近い場所
- ◆風通しが悪く、熱がこもったり、湿度やホコリの多い場所
- ◆振動や傾斜のある不安定な場所
- ◆窓ぎわで、雨などがかかるおそれのある場所
- ◆調理台のそばなど、油煙、蒸気、熱があたる場所

設置の際は本機と壁もしくはラックとのスペースは下図以上に離してください。



高電圧送電線の真下でのご使用は誤動作やノイズなどが発生する原因になりますのでご注意ください。

お手入れ

本機が汚れたときは、やわらかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5~6倍にうすめ、やわらかい布に浸し、固く絞って汚れを拭きとったあと、乾いた布でから拭きしてください。

アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると印刷などがはげたり、光沢が失われることがありますから絶対にご使用にならないでください。

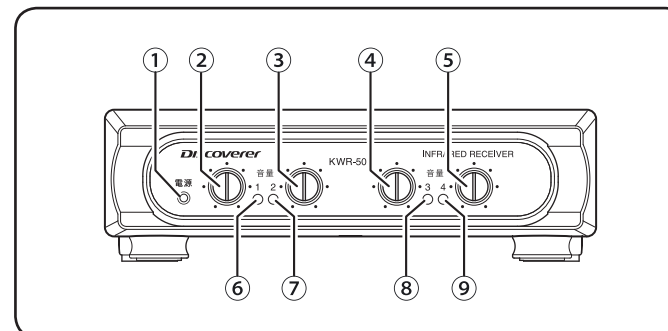
また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと本機表面が変質したり、印刷などがはげたりすることがありますのでご注意ください。

接続上の注意

- ◆本機と各機器を接続する際は、本機から AC アダプターの電源コードを抜き各機器の電源を切った状態で行ってください。
- ◆接続コードのプラグは、しっかり差し込んでください。接続が不完全だと音が出なかったり、ノイズが発生する原因になります。
- ◆AC アダプターの電源コードをコンセントから抜くときは、必ず AC アダプターの電源プラグ部分を持って抜いてください。

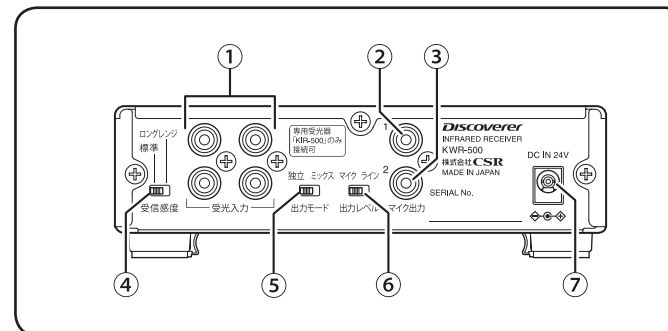
各部の名称とはたらき

前面



- ① 電源インジケータ
電源が入ると緑色に点灯します。
- ② マイク音量調整つまみ (MIC1)
- ③ マイク音量調整つまみ (MIC2)
- ④ マイク音量調整つまみ (MIC3)
- ⑤ マイク音量調整つまみ (MIC4)
マイクから入力された音声をカラオケコマンダーまたはアンプなどに出力する際の音量を調整します。右に回すと音量は大きくなります。左に回すと音量は小さくなります。マイクを2~4本使ったときに音量の差が生じる場合は、②~⑤のつまみを回して調整してください。
- ⑥ 受信インジケータ (MIC1)
受信すると黄色に点灯します。
- ⑦ 受信インジケータ (MIC2)
受信すると緑色に点灯します。
- ⑧ 受信インジケータ (MIC3)
受信すると赤色に点灯します。
- ⑨ 受信インジケータ (MIC4)
受信すると青色に点灯します。

後面



- ① 受光入力端子
受光器のプラグを差し込みます。受光器は4台まで接続できます。

警告

- 受光入力端子には、必ず専用の受光器 (KIR-500) を使用してください。
- 他の受光器を使用すると、受光器や本機の故障、火災の原因になります。

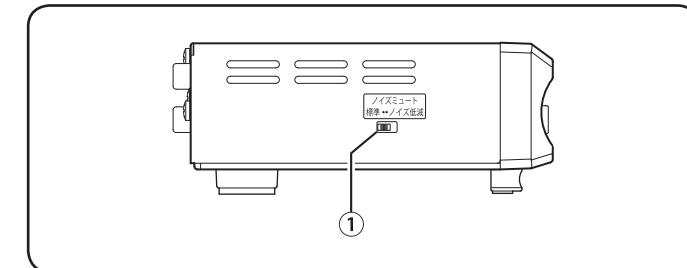
- ② マイク出力端子 1
MIC1 と MIC3 の音声を出力します。出力モードスイッチを「ミックス」側にすると、MIC1~4の音声をミックスして出力します。

- ③ マイク出力端子 2
MIC2 と MIC4 の音声を出力します。出力モードスイッチを「ミックス」側にすると、MIC1~4の音声をミックスして出力します。
- ④ 受信感度切換スイッチ
このスイッチで受信感度を切り換えます。「ロングレンジ」に設定すると、広い部屋でのご使用に適した感度になります。通常は「標準」の設定でご利用ください。
- ⑤ 出力モード切換スイッチ
このスイッチでマイク出力の方法を切り換えます。「独立」に設定すると、MIC1 と MIC3 の音声がマイク出力端子 1 から、MIC2 と MIC4 の音声がマイク出力端子 2 から出力されます。「ミックス」に設定すると、マイク出力端子 1 と 2 から MIC1~4 の音声がミックスされて出力されます。
- ⑥ 出力レベル切換スイッチ
このスイッチでマイク出力のレベルを切り換えます。マイク用の入力端子と接続する際は「マイク」に設定してください。AUX などの入力端子に接続する際には「ライン」に設定してください。
- ⑦ 外部電源入力端子 (DC IN 24V)
付属 AC アダプターの DC プラグを差し込みます。

警告

- 他の AC アダプターを使用すると、本機の故障、火災・感電の原因になります。AC アダプターは必ず付属のものをご使用ください。
- 受光入力端子にカラオケコマンダーまたはアンプからの接続ケーブルは絶対に接続しないでください。接続されたカラオケコマンダー、アンプまたはスピーカーの故障の原因になることがあります。

側面



- ① ノイズミュート切換スイッチ
このスイッチでミュートのタイミングを切り換えます。「ノイズ低減」に設定すると、ミュートが早く働き、音声が途切れるときのノイズを減らします。通常は「標準」の設定でご利用ください。

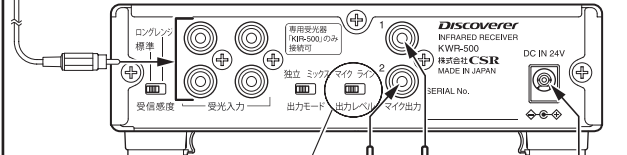
準備と接続

<接続例>

赤外線受光器 (KIR-500)

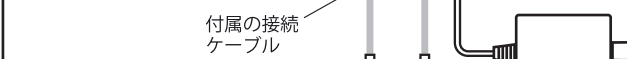
3 受光器を受光入力端子に接続します。

本機 (赤外線ワイヤレスマイクロフォンレシーバー)



2

マイク用の入力端子と接続する場合は、出力レベル切換スイッチを「マイク」に、AUX などに接続する場合は、「ライン」に切り換えます。



カラオケコマンダー



4

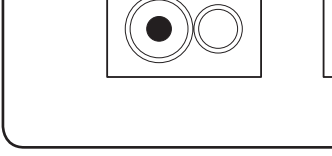
家庭用電源のコンセント、カラオケコマンダーまたはアンプなどの電源アウトレット (交流 100 ボルト) に差し込んでください。



アンプ



スピーカー



- 本機とカラオケコマンダーまたはアンプなどと接続してください。
 - 接続する前には、接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。
- 本機に接続する機器に合わせて本機後面の出力切換スイッチを「マイク」側、または「ライン」側に切り換えてください。
 - マイク用の入力端子に接続した場合は、「マイク」側に切り換えてください。
 - AUX などの入力端子に接続した場合は、「ライン」側に切り換えてください。
 - 出力レベルと入力側の端子があっていないと、音声が出なかったり、音声の歪みやノイズが発生することがあります。
- 付属の受光器 (KIR-500) を本機の受光入力端子に差し込んでください。
 - ※ 必ず専用の受光器 (KIR-500) を使用してください。
- AC アダプターの電源プラグを家庭用電源 (交流 100 ボルト) の電源コンセントまたはアンプなど本機と接続されている機器のアウトレット (交流 100 ボルト) に差し込んでください。
 - カラオケコマンダーなどの電源アウトレットに接続する場合は、必ず AC アダプターの消費電力以上が供給できる電源アウトレットに接続してください。

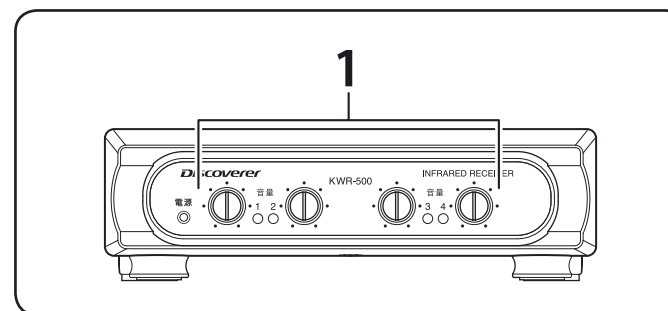
注意

本機をカラオケコマンダーまたはアンプと接続する場合は、必ずカラオケコマンダーまたはアンプの電源を切った状態で行ってください。また、カラオケコマンダーまたはアンプと接続するケーブルを受光入力端子に接続しないでください。カラオケコマンダー、アンプまたはスピーカーを破損する原因になる場合があります。

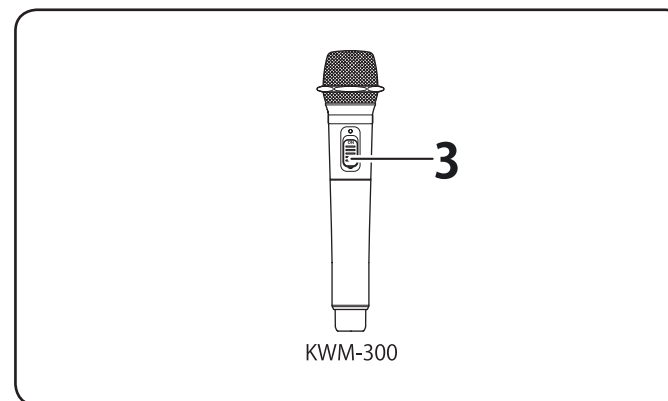
操作方法

基本の操作

操作の前に本機と各機器が正しく接続されていること、またマイクの電池残量が十分であることを確かめてください。



- それぞれのマイク音量調整ツマミが、センター位置にあることを確かめてください。
- 本機に AC アダプターを接続し、本機に接続されている機器の電源を入れてください。
 - 電源が入ると、電源インジケータが点灯します。
- マイクのスイッチを ON にしてください。
 - 本機がマイクからの赤外線を受信すると、マイクの搬送周波数に対応した受信インジケータが点灯します。



- マイクに声を入れて音量を調整してください。
 - マイク音量調整ツマミを右に回すと音量は大きくなります。
 - マイク音量調整ツマミを左に回すと音量は小さくなります。

搬送波周波数表

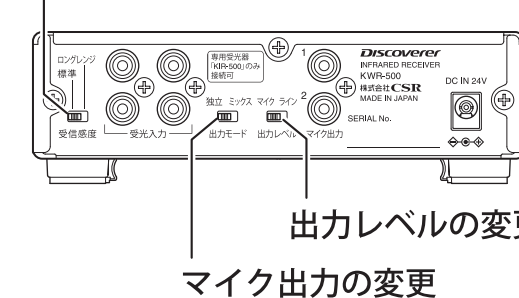
本機は、下記の搬送波周波数に対応しています。

マイク	搬送波周波数	モデル識別カラー ※1
MIC1	2.06MHz	黄
MIC2	2.56MHz	緑
MIC3	3.20MHz	赤
MIC4	3.70MHz	青

※1：モデル識別カラーは、本機の受信インジケータの点灯によりご確認ください。

後面のスイッチ設定

受信感度の変更



受信感度の変更方法

本機を使用する部屋の大きさに合わせて、本機後面の受信感度切換スイッチを使って受信感度 (ミュート) を切り換えることができます。

- 標準：カラオケボックスなどの小規模でのご使用時。
目安として、10 畳以下の大きさ。
- ロングレンジ：ホールや大規模なお店などでご使用時。
目安として、10 畳以上の大きさ。
マイクと受光器との距離が常に 2m 以上離れるような設置環境でのご使用時。
- ※ 標準設定時でマイクを同時に複数本使用の際は、受光器から 50cm 以上離れてご使用ください。
※ ロングレンジは混信を起こしやすいので、マイクを同時に複数本使用の際は、標準側に切り替えてご使用ください。

注意 感度の切り換えは実際にご使用になって、その場所にあった設定にしてください。

マイク出力の変更方法

接続されるカラオケコマンダーなどの入力系統数に合わせて、本機後面の出力モード切換スイッチを使って、マイク出力端子の出力方法を切り換えます。

- 独立：マイク出力端子の 1 と 2 から音声それぞれ出力されます。
マイク出力端子 1 からは、MIC1 と MIC3 の音声出力されます。
マイク出力端子 2 からは、MIC2 と MIC4 の音声出力されます。
接続するカラオケコマンダーなどの機器に 2 系統以上の入力端子がある場合にお使いください。
- ミックス：マイク出力端子の 1 と 2 からそれぞれ MIC1~4 の音声ミックスされて出力されます。
接続するカラオケコマンダーなどの機器の入力端子が 1 系統の場合にお使いください。

出力レベルの変更方法

接続されるカラオケコマンダーなどの入力端子の種類に合わせて、本機後面の出力レベル切換スイッチを使って本機からの出力レベルの方法を切り換えます。

- マイク：マイク用の入力端子に接続する場合
ライン：AUX などの入力端子に接続する場合

注意 各スイッチ設定は、必ず DC プラグを本機から抜くか、AC アダプターの電源プラグをコンセントを抜いてから行ってください。

受光器 (KIR-500)

⚠️ 取り付け前の注意

- 受光器を取り付けずに、レーザーだけでは赤外線を受信することができません。必ず受光器を見通しの良い場所に取り付けてください。
- 受光器を取り付ける前に壁の強度を確認してください。強度不足、取り付けの不備による落下などの事故や破損に対する責任は、当社は一切負いません。特に石膏ボードのような壁に取り付ける際には、十分な対処をしてから取り付けしてください。
- 受光器のケーブルを壁などに固定する前に壁の中に電気の配線などがないか確認してください。また、ケーブルを金具や強い力で固定すると傷つけて断線の原因となることがあります。

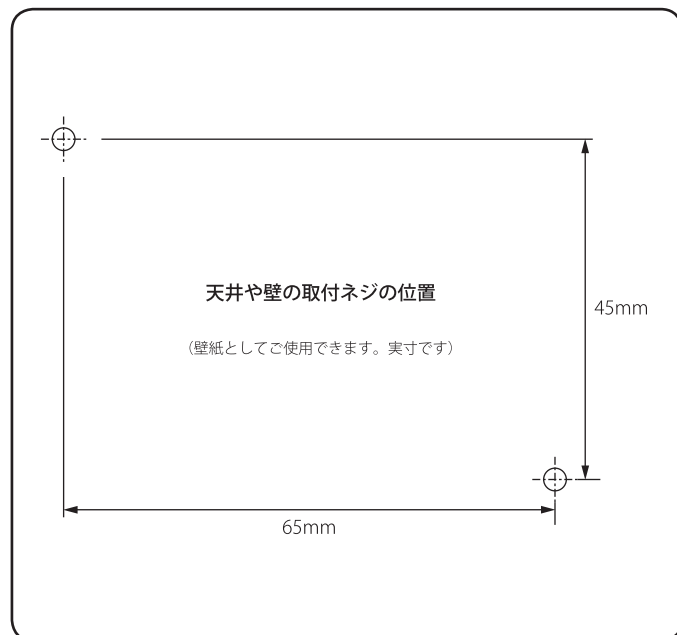
受光器の設置のしかた

取り付け上の注意

- ※ プラスドライバーと取付ネジ(付属)を用意してください。
- ※ 付属の取付ネジ以外を使用すると、受光器を破損したり、落下の原因となることがあります。
- ※ 受光器は、マイクから直接見えるような場所で、レーザーからケーブルが届く範囲(5m以内)に設置してください。遮蔽物や壁の張り出しがなく、全体が見渡せる壁の天井からやや下がった位置に取り付けるのが最も効果的です。
- ※ ご使用になる部屋の状況に合わせて、受光器を増設することが可能です。受光器は最大4個まで取り付けることが可能です。
- ※ 別売りの増設用受光器を使用すると、ケーブル長を15mまで延長できます。ケーブルの長さが15mを超えるとノイズが増える原因となることがあります。

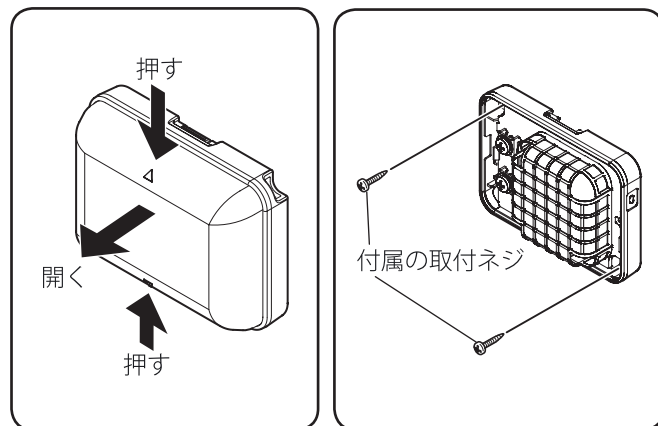
設置方法

1. 壁などの受光器を取り付けたい位置に、受光器の穴位置の印を付けてください。

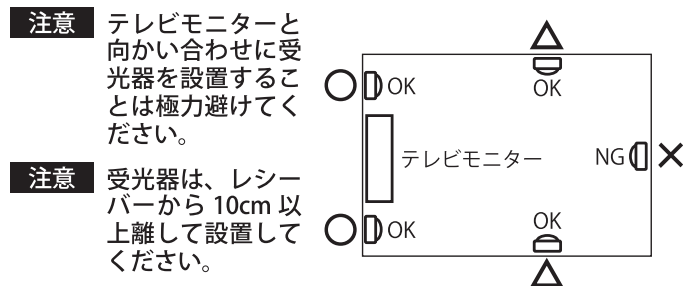


2. 受光器のケーブルがレーザーに取り付けられている場合は、受光器のケーブルをレーザーの受光入力端子から外してください。

3. 受光器のカバーにある矢印の箇所(▽マークの下)を押して、カバーを外してください。
4. 付属の取付ネジを使って、受光器を壁などに取り付けてください。



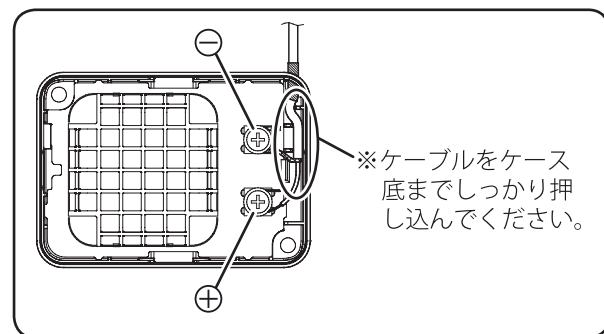
5. 外していたカバーを受光器に取り付けてください。
※ カバーのツメが確実に取り付けられていることを確認してください。
6. 受光器のケーブルをレーザーの受光入力端子に接続してください。



受光器のケーブルを短くする

※ プラスドライバーを用意してください。

1. 受光器のケーブルをレーザーの受光入力端子から外してください。
2. 受光器のカバーにある矢印の箇所を押して、カバーを外してください。
3. ケーブルを固定しているネジを受光器から外してください。
4. ケーブルを受光器から外してください。
5. 適当な長さにケーブルを切ってください。
6. ケーブルの被ふくを適当な長さにむいてください。
7. 極性をよく確認して、ケーブルの先端を丸めてネジと端子との間に差し込み、ネジを締めてケーブルを取り付けてください。



- ※ ケーブル同士はショートさせないように注意してください。ショートすると故障や感電、発火の原因となることがあります。
- ※ 網状の導線が⊖(GND)側、芯線(細い導線で無色の被覆)が⊕(SIGNAL)側です。

仕様

【一般特性】

受信方式.....ダイレクトサンプリング方式
搬送波周波数.....2.06MHz、2.56MHz
3.20MHz、3.70MHz

変調方式.....周波数変調
受信チャンネル.....4チャンネル

出力レベル
マイク : 80mVrms (±24kHz 変調 300Hz)
ライン : 425mVrms (±24kHz 変調 300Hz)

周波数特性.....50Hz ~ 12kHz±3dB
伝搬距離.....10m (直線距離)
電源電圧.....24V DC
消費電流.....155mA
動作温度.....0℃ ~ +40℃

質量
KWR-500.....540g
KIR-500.....130g (5m ケーブル含む)

外形寸法

(幅 × 高さ × 奥行)
KWR-500.....159mm × 123mm × 49mm (突起物含む)
KIR-500.....77mm × 55mm × 23.5mm (ケーブル含まず)

【AC アダプター】

入力電圧.....AC 100V 50Hz/60Hz

消費電力.....12W

出力電圧.....24V

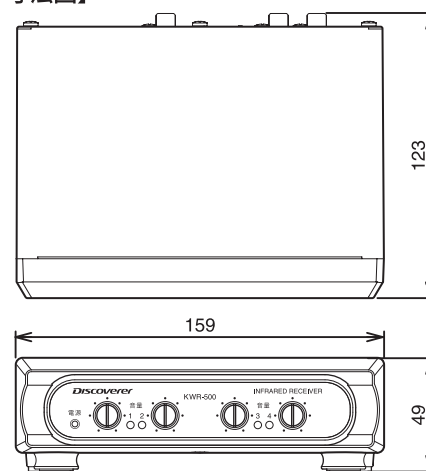
出力電流.....0.5A

動作温度.....0℃ ~ +40℃

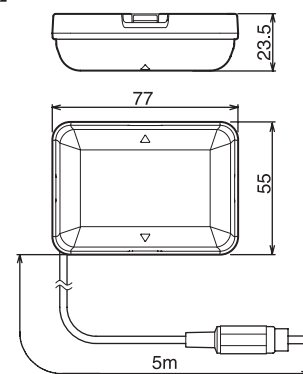
質量.....172g

外形寸法.....92.5mm × 28.5mm × 39.8mm
(幅 × 高さ × 奥行) (突起物含まず)

【KWR-500 寸法図】



【KIR-500 寸法図】



【付属品】

AC アダプター.....1
接続ケーブル(1m).....2
受光器(ケーブル長さ: 5m).....1
受光器取付ネジ.....2
取扱説明書.....1
保証書.....1

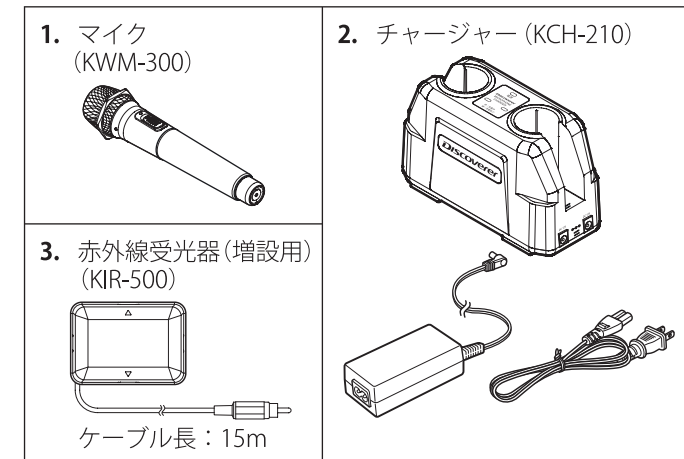
※ 本仕様は、仕様変更により予告なく変更することがあります。

故障とお考えになる前に

故障かな? と思ったときに、修理をご依頼される前に下記の項目を確認してください。下記の項目を確認されても直らない場合は、お買い上げの取扱店にご連絡ください。

どんな症状ですか	ここをチェックしてください	このように対処してください
音が出ない	マイクの電池残量は、十分でしょうか? 本機とカラオケコマンダーまたはアンプは正しく接続されていますか? また、カラオケコマンダーまたはアンプに接続されている機器は、正しく接続されていますか?	マイクの専用充電電池をご使用の場合は充電してください。乾電池をご使用の場合は、交換してください。 接続されている機器の取扱説明書をよくご覧になって、接続を確認してください。
音量が小さい	カラオケコマンダーまたはアンプの音量調整が小さすぎませんか? 本機の音量調整が小さすぎませんか? 出力レベル切換スイッチは正しく設定されていますか?	カラオケコマンダーまたはアンプの音量調整ツマミを調整し適正な音量にしてください。 マイク音量調整ツマミを調整し適正な音量にしてください。 カラオケコマンダーまたはアンプの入力端子に合わせてマイクまたはラインに正しく設定してください。
受信感が悪い	受光器の設置場所は正しいですか?	受光器をマイクから見て見通しの良い場所に設置してください。

別売り機器の紹介



株式会社 CSR

神奈川県相模原市南区相模大野5丁目33番4号

当社の最新情報をインターネット上で確認してください。

<https://www.kcsr.co.jp/>